

「リクセルの設置位置による除去成分の除去量比較」について

洛和会音羽記念病院 CE 部では、O-HDF 治療中でリクセルを使用している方を対象に以下の研究を行っております。本研究についてご質問などがございましたら、最後に記載しております「問い合わせ窓口」までご連絡ください。

【研究概要と利用目的】

β 2MG の除去および手根管症候群再発を防止するために使用されるリクセルにて O-HDF ではダイアライザの前後で対象物質の除去量にどれほど差が生まれるかを比較検討する。観察研究であり実際の治療でリクセルの設置位置を変更し、治療前後で採血を行ってそれぞれを比較します。

【研究期間】

2024 年 1 月～2024 年 6 月の期間中

2024 年 1 月～2 月に検体採取します

【個人情報保護の方法】

氏名を削除、振り分け番号にて管理を行い、研究終了後にはデータを削除します。

【研究への試料・データ提供による利益と不利益】

- ・利益: β 2MG や炎症性サイトカイン(IL-6、IL-8 等)の除去量が有意である方法を今後実施することで、透析アミロイド症治療に役立つ可能性があります。
- ・不利益: 本研究では、患者さんに対する不利益はありません。

【研究終了後のデータの取り扱いについて】

本研究に関する資料・情報は、パスワード設定されたパソコンで保管します。

保管する期間は、研究終了日から 5 年間または研究結果の報告日から 3 年間のいずれか遅い方とします。

【研究成果の発表について】

本研究の成果が論文や学会で公表されることがありますが、その場合も第三者に患者さんの個人情報明らかにならないように厳重に守られます。

【研究への試料・データ使用の拒否と中止について】

本研究への試料やデータの提供を拒否・中止したい場合には下記の「問い合わせ窓口」にご連絡ください。拒否や中止のご希望があった場合、患者さんの試料・データを本研究に使用することはありません。しかし、すでに研究成果を論文などで発表していた場合には、結果を破棄できない場合もあります。また、拒否や中止を希望されても何ら不利益を受けることはありません。

【問い合わせ窓口】

本研究に関するご質問などがある場合には、遠慮なく下記の連絡先にお問合わせください。

住所: 〒607-8116 京都府京都市山科区小山鎮守町 29-1

病院名・部署: 洛和会音羽記念病院・CE 部

研究責任者(担当者): 廣川 隆一、佐々木 拓海

電話番号: 075-594-8010